

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 067	提案機関名 神奈川県 県央家畜保健衛生所
要望問題名 神奈川県における持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉の生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 令和2年より特色 JAS として、新たに SDGs の考え方を基にした「持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉」が制定・告示されたところである。当県においても、都市型農業であることを生かし、直売等で消費者に対し生産者が当該規格により格付された鶏卵、鶏肉であることをアピールすることで、生産者等の社会的評価及び所得の向上が期待される。そこで、国産飼料用米、国産鶏種及び家畜排せつ物といった国内資源の活用を、認証基準に即して実証し、経済効果等の検証を行うことで、生産者へ経営改善の一助となるよう、要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 畜産物の購買行動分析に関する研究（令和2年度）		
対応の内容等	本 JAS により、国産鶏種、国産飼料米の利用や鶏ふんの利活用等の基準を規格化することで、国産資源の利活用拡大による食料自給率の向上効果と人や社会・環境に配慮した消費行動（エンカル消費）を志向する購買層にアピールする効果が期待されています。県内では本 JAS で認証された畜産物がなく、現状では経済効果の検証は難しいと考えています。今後、県産畜産物が認証された際に、課題化を検討します。産地に対する消費者の価値については、令和2年度に Web 調査で鶏卵の産地や特徴に対する消費者の貨幣価値を推定する調査を実施しているのでご参考にして下さい。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	持続可能性に配慮した鶏卵・鶏肉 JAS ハンドブック（令和2年8月4日国産鶏普及協議会） http://www.famic.go.jp/syokuhin/jas/doc/hb_jas_0013.pdf		